

平成 28 年 度

事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

社会福祉法人

埼玉県身体障害者福祉協会

埼玉県障がい者共同作業所

はじめに

埼玉協は、社会福祉法改正に伴う社会福祉法人制度改革の施行に向けて、定款変更認可申請手続きを所轄庁に対して行い、平成29年1月10日付けで認可を受け、新評議員を選任するなど経営組織等の整備を図ってきた。また、平成28年4月1日から施行された「障害者差別解消法」や「埼玉県共生社会づくり条例」が地域社会に定着するよう、様々な機会を捉えて意見表明や研修会を実施するなど取り組みを進めてきた。

埼玉協と市町村福祉会は非常に厳しい財政や組織運営上の課題に直面しているが、課題解決に向けて、埼玉協と市町村福祉会が両者一丸となって引き続き取り組んでいく必要がある。

埼玉協の主な事業

1 第63回身体障害者温泉療養 共同募金配分事業 6月22日(水)～24日(金)

参加 県内20福祉会参加にて実施

場所 栃木県那須郡那須町 ホテルエピナール那須

主催 埼玉県身体障害者福祉協会

参加者 一般障害者・付添・役員・事務局

合計 延 166人

2 身体障害者福祉のための第58回埼玉県児童生徒美術展覧会

打合せ会 2月19日(金) 7月14日(木)

埼玉県障害者交流センター

中央審査会 8月17日(木)

埼玉県障害者交流センター ホール

埼玉県知事賞をはじめ特別賞68点を選考した。

展覧会 10月22日(土)～23日(日) 見学者 2,500人

会場 蓮田市 蓮田市立平野小学校 体育館

主催 埼玉県身体障害者福祉協会

共催 埼玉県美術教育連盟

後援 埼玉県、埼玉県議会、埼玉県教育委員会、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市、さいたま市議会、さいたま市教育委員会、さいたま市社会福祉協議会、蓮田市、蓮田市議会、蓮田市教育委員会、蓮田市社会福祉協議会、日本身体障害者団体連合会、埼玉県共同募金会、日本赤十字社埼玉県支部、埼玉縣市町村教育委員会連合会、埼玉県公立小学校校長会、埼玉県中学校長会、埼玉県連合教育研究会、朝日新聞さいたま総局、共同通信社さいたま支局、埼玉新

聞社、産経新聞社さいたま総局、時事通信社さいたま支局、テレビ玉、東京新聞さいたま支局、NHKさいたま放送局、毎日新聞社さいたま支局、読売新聞さいたま支局、富士福祉事業団

協賛校	小学校	846校	505,914枚	
	中学校	240校	59,294枚	
	合計	1,086校	565,208枚	
出品作品数			119,391人	
入選作品数			17,347人	賞状
特選作品数			750人	賞状
特別賞作品数			68人	賞状・盾

3 地区別福祉研修会 共同募金配分事業

研修会開催内容

- 第1区 川口市 青木会館 2月11日(土) 参加者 51人
「障害者差別解消法が施行されて」
講師 川口市障害福祉部
次長兼障害福祉課長 伊藤 雅章 氏
- 第2区 入間市 中央公民館 2月21日(土) 参加者 52人
「エンディングノートの上手な活用について」
講師 株式会社 メモリード 野村 勝広 氏
- 第3区 皆野町 皆野総合センター 2月25日(土) 参加者 43人
「障害者差別解消法について」
講師 社会福祉法人 清心会
総合施設長 村山 勇治 氏
- 第4区 春日部市 あしすと春日部 2月18日(土) 参加者 51人
「埼玉県高齢者支援計画の推進について」
講師 埼玉県福祉部高齢者福祉課 総務・高齢企画担当
主幹 松尾 賢治 氏
- 第5区 埼玉県障害者交流センター 1月25日(水) 参加者 18人
「埼玉県高齢者支援計画の推進について」
講師 埼玉県福祉部高齢者福祉課 総務・高齢企画担当
主査 川口 久雄 氏

4 日本身体障害者団体連合会

第61回 日本身体障害者福祉大会きょうと大会

テーマ 「地域福祉の推進に向けた日身連の役割について、社会福祉法人

制度改革と障害者差別解消法の実施」

開催日 平成28年5月11日(水)～5月12日(木)

参加者 約2,700人 (内 埼玉県 参加者 7名)

会場 5月11日(水) 新・都ホテル

5月12日(木)京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)

5月11日(水)評議員会・政策協議(基調講演・シンポジウム)・歓迎レセプション

5月12日(木)福祉大会

福祉大会

あいさつ、表彰、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、政策協議報告、大会宣言採択、大会決議採択、次回大会開催地代表あいさつ、閉会のことば、がんばろう三唱

大会決議

- 1 共生社会をめざし障害者権利条約を障害者施策に実現させよう
- 1 すべての自治体に障害者差別をなくすための条例を制定させよう
- 1 東日本大震災被災地の復興を着実に実行させよう
- 1 地域相談支援体制に身体障害者相談員を活用させよう
- 1 熊本地震による被災障害者の早期生活再建をめざそう

5 日身体障害者団体連合会 関東甲信越静岡ブロック協議会

平成28年度 春季日身連関東甲信越静岡ブロック協議会

団体長会議 栃木県 チサンホテル宇都宮

6月16日(木)～17日(金) 埼玉県 出席者 2人

平成28年度 秋季日身連関東甲信越静岡ブロック協議会

代表者会議 川崎市 ホテルケイエスピー

9月29日(木)～30日(金) 埼玉県 出席者 2人

6 埼玉県委託事業

埼玉県身体障害者結婚相談員設置事業 共同募金配分事業

結婚を希望する身体障害者に対し、結婚に関する各種相談等に応じる結婚相談員が火・木・土曜日 午前10時から午後4時まで障害者交流センター(団体交流室)に勤務している。

結婚希望登録者数 男性 207人 女性 40人 計 247人

新規登録者数 男性 4人 女性 0人 計 4人

年間相談件数 計 472件

結婚成立 5組

- ・ 関東甲信越静岡ブロック 障害者結婚相談実務担当者連絡会
静岡県 県総合社会福祉会館 4月28日(木) 埼玉県参加者 欠席
加盟団体 16都県政令市
- ・ 第80回 ふれ愛のつどい交流会 交流 歓談・マッチングカード
埼玉県障害者交流センター 8月7日(日) 参加者 21人
- ・ 平成28年度関東甲信越静岡ブロック合同 友愛の集い
新横浜国際ホテル2階クリスティ 9月11日(日) 埼玉県参加者9人
- ・ 第81回 ふれ愛のつどい交流会 交流 歓談・マッチングカード
埼玉県障害者交流センター 12月18日(日) 参加者 18人
- ・ 第43回 ジャンボひまわりの集い
山梨県県立図書館 3月12日(日) 埼玉県参加者 1人

7 埼玉県身体障害者相談員活動推進員設置事業

身体障害者相談員の資質の向上と活動の促進を図り、身体障害者福祉の増進に資することを目的として、身体障害者相談員の指導及び研修の企画推進にあたる身体障害者活動推進員が事務所に常勤している。

権限移譲により、身体障害者相談員は各市町村委嘱となる。

身体障害者相談員委嘱者数 平成28年7月1日現在

市町村長委嘱	154人
川越市長委嘱	18人
さいたま市長委嘱	23人
合計	195人

○ 身体障害者相談員研修会

第1回 身体障害者相談員研修会

埼玉県障害者交流センター

平成28年6月10日(金) 参加者 120人

「障害者差別解消法及び埼玉県共生社会づくり条例のポイント」

講師 埼玉県福祉部 障害者福祉推進課計画・団体担当

主査 千葉 誠 氏

第2回 身体障害者相談員研修会

埼玉県障害者交流センター

平成28年8月5日(金) 参加者 110人

「障害に対する理解を深め支えあう関係を構築するまちづくりを目指して」

講師 日本社会事業大学

講師 倉持 香苗 氏

第3回 身体障害者相談員研修会

熊谷文化創造館さくらめいと会議室1

平成28年11月5日(土)

参加者 26人

「当事者相談員がケアの担い手として必要なこと」

講師 立教大学コミュニティ福祉部

教授 結城 俊哉 氏

第4回 身体障害者相談員研修会

埼玉県障害者交流センター

平成28年12月 3日(土)

参加者 94人

「当事者相談員がケアの担い手として」

講師 立教大学コミュニティ 福祉学部

教授 結城 俊哉 氏

- 第17回関東甲信越静岡ブロック身体障害者相談員研修会参加
身体障害者相談員の資質の向上、相談業務の充実、情報交換等を図ることを
目的として開催。

ホテル ラングウッド新潟

平成28年7月10日(日)

埼玉県 参加者 3人

講演1 「障害者制度改革と障害者差別解消法施行について」

講師 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

常務理事兼事務局長 森 祐司 氏

講演2 「障害者差別解消法と新潟市条例」

講師 新潟大学教職大学院

教育学部特別支援教育専修 長澤 正樹 氏

8 埼玉県社会参加推進委託事業

障害者生活訓練事業

- ① 第21回技能講習会 10月11日(月) 参加者 18人

障害がありながら、自動車を運転する者に対し、運転技能を習得させる
ことにより、交通法規の遵守、事故の防止、安全運転の励行に資することを
目的として実施した。

川島町 交通教育センターレインボー埼玉

正しいハンドル操作と運転技能の習得

車のブレーキ特性を理解することをテーマに開催

安全運転技能講習終了証授与

- ② ボウリング教室 11月13日(日) 参加者 27人

ボウリングで身体全身を使うことにより機能訓練にも効果が期待されると
ともに、社会生活に必要な常識やマナー等の習得を促進することにより、

障害者の活動範囲の拡大を図ることを目的として実施した。

川越市 ユニクスボウル

③ 料理講習会 11月24日(木) 参加者 8人

料理実習を行うことにより、健康的な生活と豊かな家庭料理の向上と健康維持を図ることを目的として実施した。

上尾市 上尾市総合福祉センター

秋のおもてなし料理

和風ロースとビーフ・しめじご飯

高野豆腐の射込み・栗入りういろう

講師 大川 喜久子 氏 スタッフ2名

④ 歩行訓練

身体障害者が日常生活に必要な、訓練・指導を行い、社会参加の促進を図るとともに、障害者の福祉向上を目的とする。

併せて、各地区の障害者が安心して外出できるよう、利用する駅等施設「駐車場・昇降設備・案内表示・スロープ等」のバリアフリー状況調査を6ヵ所で行った。

川口市身体障害者福祉会	参加者	12人
川口市立南平文化会館南平公民館		12月27日
川口市鳩ヶ谷庁舎		1月13日
川口市立中央ふれあい館		1月18日

伊奈町身体障害者福祉会	参加者	32人
伊奈町ふれあい活動センター『ゆめくる』		1月12日
ニューシャトル『丸山駅』		1月13日
県民活動センター『けんかつ』		1月16日
ニューシャトル『志久駅』		1月21日
ニューシャトル『伊奈中央駅』		1月21日
ニューシャトル『羽貫駅』		1月21日
ニューシャトル『内宿駅』		1月21日

行田市身体障害者福祉会	参加者	19人
行田市役所		1月7日
行田市コミュニティセンター		1月24日
行田市教育文化センター『みらい』		2月8日

秩父身体障害者福祉会	参加者	12人
------------	-----	-----

秩父線 『秩父駅』 1 2 月 2 3 日
矢尾百貨点 1 2 月 2 3 日

所沢市身体障害者福祉会 参加者 1 0 人
西武池袋線『西所沢駅』 1 月 2 8 日
所沢市松井公民館 1 月 2 8 日

加須市騎西地域身体障害者福祉会 参加者 8 人
東部伊勢崎線『加須駅』
騎西文化学習センター『キャッスルきさい』 2 月 1 0 日
騎西老人福祉センター 2 月 1 0 日

9 埼玉県共同募金会受配事業

- 1 広報紙発行事業
- 2 結婚相談事業
- 3 身体障害者温泉療養事業
- 4 スポーツ大会事業
- 5 地区別福祉研修会事業
- 6 美術展覧会 楯作成事業

1 0 埼玉協 年間事業等

- 1 日身連収益事業による一般生活用品の取扱い事業
- 2 官公庁等公共施設に自動販売機の設置事業
- 3 県下小、中学校に画用紙、版画用紙の販売事業
- 4 青い鳥団体傷害補償制度取扱い事業
- 5 J R ジパング倶楽部特別会員取扱い事業

☆埼玉協各委員会

○総務委員会 開催

平成 2 8 年度補正予算 (案) 平成 2 9 年度予算 (案)

平成 2 7 年度決算報告 (案)、事業報告 (案)

平成 2 9 年度の分担金 (案)、事業運営の課題等

その他

○広報委員会 開催

広報紙 [埼玉協] 発行・音声 CD 作成 共同募金配分事業

No. 5 6 広報紙発行 平成 2 8 年 7 月 3 日付 委員会開催 (B 4 版から
A 4 版に切り替え)、県内各市町村福祉会配布、全国の障害者福

社協会配布、音声CD作成配布、
 №.57 広報紙発行 平成29年1月1日付 委員会開催
 県内各市町村福祉会配布、県内小中学校配布
 全国障害者福祉協会配布
 音声CD作成配布
 ホームページの運用

☆埼玉協 部会活動

○自動車部会

会員の親睦を図り、身体障害者に対する諸税の減免等、その他運転技能大会を開催し、交通安全思想の普及を図る。

- ① 平成28年度 総会 5月19日(木)
 埼玉県障害者交流センター 参加者 38人
- ② 第36回 運転技能競技大会 9月26日(火)
 新座市 身体障害者運転能力開発訓練センター 参加者 28人
 東園自動車教習所
- ③ 第21回 技能講習会 10月11日(月)
 川島町 交通教育センターレインボー埼玉 参加者 18人
 正しいハンドル操作と運転技能の習得
 車のブレーキ特性を理解することをテーマに開催
 安全運転技能講習終了証授与
- ④ 一泊研修会及び祈願祭 11月13日(日)～14日(月)
 一泊研修会 潮風館 参加者 64人
 講演「運転者・歩行者の交通事故防止について」
 祈願祭 熱海市 「来宮神社」 参加者 53人
- ⑤ 第21回無事故・無違反者表彰式及び交通法規講習会 2月24日(金)
 埼玉県障害者交流センター 参加者 17人
 無事故・無違反者表彰
 5年表彰 1人 10年表彰 1人 20年表彰 1人
 講演 「交通事故に遭わないために」について
 講師 (株)元木物流
 講師 皆川 幸夫 氏
- ⑥ 役員会 随時開催 本部広報委員会 随時参加

○婦人部会

障害婦人の知識と教養向上のため各種事業の開催及び育成強化を図る。

- ① 平成28年度 総会 4月 21日 (木)
埼玉県障害者交流センター 参加者 25人
 - ② 手芸講習会 9月 9日 (金)
埼玉県障害者交流センター 参加者 26人
LED あかりアート
 - ③ 一泊研修会 10月27日 (木) ~ 28日 (金)
伊豆 潮風館 参加者 16人
 - ④ 料理講習会 11月24日 (木)
上尾市総合福祉センター 参加者 8人
「秋のおもてなし料理」
講師 大川 喜久子 氏 スタッフ2名
 - ⑤ 婦人健康指導教室 1月26日 (金)
埼玉県障害者交流センター 参加者 16人
「健康に関するお話しと体操」
講師 埼玉県障害者交流センター
指導員 黒瀬 卓也 氏
 - ⑥ 役員会 随時開催 本部広報委員会 随時参加
- 青年部会
青年は組織の中核をなす組織であり、次代をになう人物の育成強化を図り
研修会、スポーツ教室（卓球大会）等を開催
- ① 平成28年度 総会 6月5日 (日)
埼玉県障害者交流センター 参加者 17人
 - ② 青年部育成料理教室 8月28日 (日)
深谷市 川本サングリーンパーク 雨天のため中止
 - ③ ボウリング教室 11月13日 (日)
川越市 ユニクスボウル 参加者 27人
 - ④ 日帰り研修会 10月30日 (土)
茨城県 牛久大仏 茨城県自然博物館 参加者 27人
 - ⑤ スポーツ大会 共同募金配分事業
第33回 卓球大会 2月12日 (日)
埼玉県障害者交流センター 体育館 参加者 86人
 - ⑥ 役員会
随時開催 本部広報委員会 随時参加

1 1 平成28年度 理事会・評議員会・監査会開催報告

(1) 理事会開催

第1回 平成28年5月13日(金) 書面理事会

第1号議案 評議員の選任同意について

第2回 平成28年5月27日(金) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 平成27年度事業報告(案)について

本部、共同作業所

第2号議案 平成27年度収支決算(案)及び監事監査報告について

本部、共同作業

監査報告

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 理事の辞任について

報告事項 社会福祉法の改正について

第3回 平成28年9月16日(金) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 社会福祉法人制度改革に伴う定款変更等について

第2号議案 平成28年度秋季日本身体障害者団体連合会関東甲信越静ブロック協議会代表者会議の提案議題について

第3号議案 寄付金の受け入れについて

第4号議案 共同作業所の改善委員会について

第5号議案 理事及び評議員の補充選任について

第6号議案 平成28年度身体障害者福祉のための第58回埼玉県児童生徒美術展覧会表彰式等の担当役員について

第7号議案 平成28年度生活訓練事業の実施について

報告事項 各福祉会の現況調査結果について

第4回 平成28年11月25日(金) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 定款の変更について

第2号議案 役員及び評議員報酬等に関する規則の一部改正について

第3号議案 評議員選任・解任委員会及び定款施行細則の一部改正について

第4号議案 分担金について

第5号議案 平成29年度温泉療養プレゼンテーションについて

第6号議案 その他

報告事項 身体障害者相談員研修について

第5回 平成29年2月15日(水) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 評議員の選任候補者の推薦について

第2号議案 育児休業等に関する規則の一部改正について

第3号議案 定款施行細則の一部改正について

第4号議案 その他

報告事項 定款変更の認可について

美術展覧会画用紙の契約締結について

第6回 平成29年3月25日(土) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 平成28年度補正予算(案)について

第2号議案 平成29年度市町村福祉会分担金(案)について

第3号議案 平成29年度事業計画(案)について

第4号議案 平成29年度収支予算(案)について

報告事項 新評議員選任結果について

さいたま市社会福祉法人・施設指導監査の結果について

埼玉協本部事務局の移転計画について

(2) 評議員会 開催

第1回 平成28年5月27日(金) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 平成27年度事業報告(案)について

本部本部、共同作業所

第2号議案 平成27年度収支決算(案)及び監事監査報告について

法人本部、共同作業所、公益事業、収益事業

監査報告

第3号議案 定款の変更について

第2回 平成28年11月25日(金) 埼玉県障害者交流センター

第1号議案 定款の変更について

第2号議案 その他

第3回 平成29年3月25日(土)

第1号議案 平成28年度補正予算(案)について

第2号議案 平成29年度市町村福祉会分担金(案)について

- 第3号議案 平成29年度事業計画（案）について
第4号議案 平成29年度収支予算（案）について

監査会 開催

埼玉協内部監査

平成28年5月18日（水） 埼玉県浦和合同庁舎 会議室

社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会

平成27年度分 理事の業務執行及び財産状況(本部会計・共同作業所会計、公益事業会計、収益事業会計)について監査を実施。

平成28年度 埼玉県障がい者共同作業所事業報告

1. 共同作業所運営状況

共同作業所の平成28年度の自立支援費収入については、年度内に入所の新規利用者が1名あったが、施設不適合のため一ヶ月程で退所した一方、高齢の利用者の退所が4名と相次ぎ、通所の利用者が4名増加したが収入総額は前年度比と3.16%の減少となった。依然厳しい施設運営を余儀なくされる状況である。さらに、老朽設備の大規模修繕はなかったが小規模修繕の支出も加わり、平成の単年度収支は1000万円の寄付を加えても約450万円の赤字となった。

このため、自立支援費収入の増額を図ることが緊急の課題であるが、短期的には通所を中心とした利用者増に努める他ないが、長期的には定員を大きく下回っている入所の利用者の退所を避け、新規入所の増を図るために“介護体制”の導入など運営形態の抜本的改善が必要である。その方策の一つとしてグループホームの開設も検討したが、その制度上「生活の場」と「就労の場」の切り離しが必要であり、新たな「生活の場」の土地の確保は費用的に困難であることが判った。

従って当面は現状の敷地・建物を利用しての出来ることとして、就労支援のむずかしい障がい者も積極的に受入れ、生活介護の要素を取り入れた就労支援の場として開設した第3作業場の充実を含めて、利用者を適切に処遇するよう努めた。

なお、具体的かつ詳細な利用者の状況は下記2-(3)と別紙2のそれぞれの表のとおりである。

また、クリーニングの売上及び工賃の支給状況は下記の2-(2)のとおりであるが、売上・工賃ともこの十年間で最低の額となった。

2 共同作業所運営状況

(1) 自立支援費収入の状況 (別紙1-表1)

平成28年度の自立支援費の市町村給付費等合計は前年度に比べ3.16%のみの減収に止まった。それは通所に新たに5名の利用者があり、退所者が2名で計3名の増員となったが、入所利用が退所者5名、入所1名で計4名の減員となったためである。今なお高齢の入所者の中には介護施設への移行を検討しなければならない人が数名在籍している。

(2) クリーニング売上収入及び工賃支給状況 (別紙2-表1)

平成28年度は大手取引企業の事業縮小などがあり、平成27年度に比

べ100万円程の減収であったが、経営の効率化を図った結果、売上収入に比べ工賃支給は18万円の減少に止まった。

(3) 利用者の状況 (別紙3—表1、2、3、4、5、6、7)

平成28年度中の利用者は、施設入所者が4名減となったが通所利用者の3名の増があったために作業所全体では計1名のみで現員であった。

年齢構成は、高齢者が退所し若い利用者が増加したために平均年齢は下がった。

また、障がい状況は新規の通所者5名の中、4名が知的のみの障がい者である。

(4) ケアプランによる総合的な支援

個々の利用者の状況に応じた個別支援計画(ケアプラン)を定め、支援目標の達成に向けて市町村や関係機関、家族との連携を図り、総合的な支援を実施した。

3 今後の課題

施設経営基盤強化の方策を早急に立てる必要があり、共同作業所運営協議会を年度内に定例化する必要がある。

(1) 平成25年度1041万円、26年度800万円、27年度1100万円、28年度450万円という赤字経営からの脱却を図るため経営体質の見直しを行わなくてはならない。

(2) 利用者の増加を図るために、入所利用者は基本的に自立しており、身の回りのことが出来るという従来の入所基準の是非を見直す必要に迫られている。障害区分5～6という重度障害者の支援が可能な体制とする抜本的な改革とするか、一部生活介護や見守り支援の導入とするかが検討課題である。通所利用者に対しては要望の把握及び授産科目の再検討も課題である。

(3) 施設老朽化への対応を図る

(1)、(2)の課題を同時・平行して検討し、併せて施設老朽化への資金投資の是非を総合的に判断する。